

総合基礎科目	協働的医療実践の展開					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	選択					
科目名	社会福祉原論 Principles of Social Welfare					
担当教員	倉持 史朗					
目的	<p>少子高齢化など社会的な課題を背景として、全人的な医療を患者に提供するために医療従事者と社会福祉専門職が、地域や施設といった実践現場レベルで協働することが多くなっている。</p> <p>上記の認識のもと、社会福祉とは何か、その必要性和意義、社会福祉を支える法律や制度、担い手、課題について学ぶ。</p>					
目標	<p>1) 現代社会における社会福祉の意義について理解できる。</p> <p>2) 社会福祉の各領域の現状と支援の実際、課題などについて説明できる。</p> <p>3) 福祉・保健・医療が連動し協働していくために、医療職として他の専門職と連携する重要性が理解できる。</p>					
他科目との関連						
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	室田保夫・倉持史朗ほか編著(2018)『社会福祉(新・基礎からの社会福祉)』ミネルヴァ書房。					
参考資料	必要に応じて授業中に紹介する。					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<p>社会保障や社会福祉の法制度などについては初めて知るものも多いので、不明点は授業後に自分で調べるなどで復習することが望ましい。</p> <p>ディスカッションなどもとり入れて授業を行うので、自分ならどう考えるかを意識しながら積極的な態度・姿勢で臨むこと。</p>					